



平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年9月18日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 兼 CEO (氏名) 杉原 博茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 兼 CFO (氏名) 野坂 茂 TEL 03-6834-6666
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の業績（平成27年6月1日～平成27年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	37,572	2.6	11,139	8.5	11,216	9.0	7,480	12.6
27年5月期第1四半期	36,606	2.0	10,262	9.0	10,292	10.1	6,643	16.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	58.79	58.69
27年5月期第1四半期	52.23	52.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第1四半期	176,932	109,292	61.2	851.45
27年5月期	188,847	113,826	59.8	887.28

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 108,356百万円 27年5月期 112,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	95.00	95.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 次期の配当金は未定です。配当予想額の開示が可能になり次第、速やかに開示いたします。

3. 平成28年5月期の業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	1株当たり 当期純利益
	%	円
通期	2.0 ～5.0	245 ～254

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成28年5月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。

3. 予想実効税率は33.5%です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期1Q	127,322,771株	27年5月期	127,308,971株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	62,375株	27年5月期	62,205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期1Q	127,253,419株	27年5月期1Q	127,202,191株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P4.「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概要

当第1四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日。以下、「当四半期」)においては、日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費は底堅く推移し、企業の業績においては引き続き緩やかな改善基調にあります。企業のIT投資意欲についても金融、流通サービス業に続き、公共の分野においても回復基調にあります。

技術・社会面では、デジタル・ディスラプション(デジタル化による大変革)、少子高齢化に伴う生産人口の減少と人手不足、グローバル化の進展など、従来型のビジネスモデルから未来志向型のビジネスモデルへの転換を迫られており、クラウド・IT活用による生産性の向上や成長分野への事業進出が課題となっております。

このような事業環境のもと、当社は、「VISION2020:2020年までにNo.1クラウドカンパニーになる」ことを目標に、当社のクラウドソリューション、クラウドのちから(POCO:The Power of Cloud by Oracle)を幅広く皆様にご利用頂けるよう「SaaS/PaaS/IaaS(注)事業の拡大」、「システム事業の拡大」、「エンタープライズ営業の強化」、「地域ビジネス成長に向けた支社体制の再編と拡充」を経営方針として事業を推進しております。

以上の結果、当四半期の経営成績につきましては、売上高37,572百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益11,139百万円(前年同期比8.5%増)、経常利益11,216百万円(前年同期比9.0%増)、四半期純利益7,480百万円(前年同期比12.6%増)となり、第1四半期の業績としては、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、過去最高を記録いたしました。

(注1) SaaS (Software as a Service) : 財務会計や給与・人事管理などのソフトウェアの必要な機能を必要な分だけ、インターネットを経由して提供するサービス。

(注2) PaaS (Platform as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤となるデータベース管理ソフトウェアや、異なるソフトウェア間を円滑に連携させる中間層のソフトウェアを、インターネットを経由して提供するサービス。

(注3) IaaS (Infrastructure as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤(サーバーマシンやストレージなどのハードウェアやネットワークなど)そのものを、インターネットを経由して提供するサービス。

② 報告セグメント別の状況

[新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)*]

* 従来「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から名称変更いたしました。また、当社の事業管理区分の変更に伴い、従来「サービス」セグメントに含まれていた「マネージド・クラウド・サービス」を「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに移管しております。

売上高は9,745百万円(前年同期比8.3%増)となりました。内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は8,783百万円(前年同期比7.1%増)、クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)の売上高は962百万円(前年同期比20.7%増)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、これらのソフトウェアを、インターネットを通じてサービス提供する「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」から構成されます。

クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)については、前事業年度より営業体制の強化、クラウド関連製品・サービスの拡充、パートナーアライアンスを強力に推進しております。その結果、新規ユーザーが急速に拡大しており、当四半期の売上高については、前年同期比20.7%増と2ケタ成長となりました。

平成27年7月には、これまでオンプレミスで提供してきました「Oracle Exadata」をクラウド環境で提供する「Oracle Database Cloud - Exadata Service」や、ビッグデータの利活用を支援する「Oracle Big Data Cloud Service」など、新たに6つのサービスを「Oracle Cloud Platform」に追加し、提供を開始しました。これらのクラウドサービスは、オンプレミスに比べシステムの早期導入を可能にするほか、オンプレミス製品で培ってきた標準技術で構築しているため、お客様がこれまで投資されてきたITシステムとの連携や、クラウド環境へのスムーズな移行を可能とします。今後もさらにクラウドソリューションを拡充し、安心してお使い頂けるよう製品供給、顧客サポート体制を強化し、ユーザー数の拡大を行ってまいります。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は19,027百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）、かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求や、特にパートナー様との協業を推進し、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移しました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は4,620百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

内訳につきましては、ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は2,037百万円（前年同期比35.0%減）、ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は2,582百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトにおいて、前年同期の大型案件の反動減の影響がございました。

[サービス]

売上高は4,179百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティング・サービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーション・サービス」から構成されております。

アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。またエデュケーションサービスでは、インターネット・オブ・シングス（IoT）向けの最新Java技術研修の需要が高まっております。

<報告セグメント別売上高の状況>

区分	平成27年5月期 第1四半期		平成28年5月期 第1四半期			平成27年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	8,203	22.4	8,783	23.4	7.1	45,544	28.3
クラウド（SaaS/PaaS/IaaS）	796	2.2	962	2.6	20.7	3,298	2.0
新規ライセンスおよび クラウド（SaaS/PaaS/IaaS）	9,000	24.6	9,745	25.9	8.3	48,843	30.3
アップデート&プロダクト・サポート	18,042	49.3	19,027	50.6	5.5	73,401	45.6
ソフトウェアおよびクラウド	27,042	73.9	28,772	76.6	6.4	122,244	75.9
ハードウェア・システムズ・プロダクト	3,135	8.6	2,037	5.4	△35.0	11,570	7.2
ハードウェア・システムズ・サポート	2,479	6.8	2,582	6.9	4.2	10,219	6.3
ハードウェア・システムズ	5,615	15.3	4,620	12.3	△17.7	21,790	13.5
サービス	3,947	10.8	4,179	11.1	5.9	17,016	10.6
合計	36,606	100.0	37,572	100.0	2.6	161,051	100.0

（注）金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

なお、前年同期の売上高は、変更後の区分方法および名称により作成したものを記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は176,932百万円(前事業年度末比11,914百万円減)となりました。流動資産は136,781百万円(前事業年度末比11,726百万円減)となりました。

負債は67,639百万円(前事業年度末比7,381百万円減)、純資産は109,292百万円(前事業年度末比4,533百万円減)となりました。この結果、自己資本比率は61.2%(前事業年度末比1.4ポイントアップ)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月26日に発表いたしました平成28年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,194	120,382
売掛金	17,578	12,540
その他	3,737	3,861
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	148,508	136,781
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,340	12,154
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,233	1,205
有形固定資産合計	39,631	39,417
無形固定資産	7	7
投資その他の資産		
その他	704	730
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	700	726
固定資産合計	40,338	40,150
資産合計	188,847	176,932
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,008	6,938
未払金	5,568	4,339
未払法人税等	9,528	3,904
前受金	42,674	48,154
賞与引当金	1,752	852
その他の引当金	272	259
その他	5,206	3,182
流動負債合計	75,012	67,631
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	75,020	67,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,743	22,776
資本剰余金	6,094	6,127
利益剰余金	84,361	79,749
自己株式	△295	△296
株主資本合計	112,903	108,356
新株予約権	922	936
純資産合計	113,826	109,292
負債純資産合計	188,847	176,932

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	36,606	37,572
売上原価	19,103	18,945
売上総利益	17,502	18,627
販売費及び一般管理費	7,240	7,487
営業利益	10,262	11,139
営業外収益		
受取利息	15	19
為替差益	12	54
その他	2	2
営業外収益合計	30	77
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	10,292	11,216
特別利益		
新株予約権戻入益	81	7
特別利益合計	81	7
税引前四半期純利益	10,374	11,224
法人税等	3,731	3,743
四半期純利益	6,643	7,480

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライ センスおよび クラウド (SaaS/PaaS /IaaS)	アップデー ト&プロダク ト・サポー ト	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,000	18,042	5,615	3,947	36,606	—	36,606
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,000	18,042	5,615	3,947	36,606	—	36,606
セグメント利益	782	9,672	276	626	11,358	△1,095	10,262

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,095百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライ センスおよび クラウド (SaaS/PaaS /IaaS)	アップデー ト&プロダク ト・サポー ト	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,745	19,027	4,620	4,179	37,572	—	37,572
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,745	19,027	4,620	4,179	37,572	—	37,572
セグメント利益	678	10,158	243	1,102	12,183	△1,043	11,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,043百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、従来の「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」セグメントを「新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに名称変更しております。また、当社の事業管理区分の変更に伴い、従来「サービス」セグメントに含まれていた「マネージド・クラウド・サービス」を「新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに移管しております。

なお、前第1四半期会計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法および名称により作成したものを記載しております。